

接辞「～めく」の意味

鈴木 智美

東京外国語大学留学生日本語教育センター

tmsuzuki@tufs.ac.jp

1. はじめに

本稿は、現代日本語における接辞「～めく」¹の意味を探ることを目的とする。分析の対象とするのは以下の例(1)(2)に示すような「N(名詞)+めく」である²。

- (1) 日差しが春めいてきた。
- (2) ついお説教めいたことを言ってしまう。

2. 先行研究の記述

先行研究における「～めく」の意味の記述は、以下の通りである³。(下線は引用者。)

- (3) 『くらべてわかる 日本語表現文型ノート』(大阪YWCA日本語教師会(2000:250))
「Aめく」(名詞+めく): Aのように感じられる。/Aのようになってくる。
- (4) 『日本語文型辞典』(グループ・ジャマシイ編著 (1998:569-570))
「Nめく」: 名詞に付いて、それが表す要素をもっている、という意味を表す。使用する名詞は限られている。名詞を修飾する場合は「NめいたN」という形になる。
- (5) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』(白川監修(2001:542-543))
「～めく、～ばむ、～じみる」は特定の名詞や動詞とともに用いられて、その名詞が表す状態へ変化することを表します。
- (6) 『日本語教育事典』(日本語教育学会編 (1987:426))
名詞、形容詞の語幹、形容動詞の語幹、副詞「わざと」の後に付けて五段活用の自動詞をつくる。前項成分の持つ意味内容の徴候、兆し、又は要素が、それと分かるほどに表面に現れ出た様子、又は、加味された様子を表す。「～のように見える」「～の傾向をもつ」の意。
- (7) 森田(1996:196): そうでないモノが極めてそれに近い状態にあることへの極端なマ

¹ 一語化していると考えられる「うめく、わめく、うごめく、はためく、きらめく、ひらめく、ときめく、いろめく、ざわめく、どよめく、ゆらめく、よるめく、ひしめく、(あわて)ふためく、(わらい)さざめく」などについては、本稿では分析の対象から除く。

² 対象となる「～めく」には下線を付し、「～めく」が接続する名詞は■で示す。

³ 中古語における接辞「～めく」の研究はここに含めていない。

イナス評価の接尾辞である。

- (8) 『類語国語辞典 第七版』(大野・浜西(1993:458, 1143))

体言などに付いて動詞を作る。らしくなる(見える)意。「めく」には、本当にそのものらしくなる意と、一見そのものらしく見える意とがある。

以上のような先行研究の記述を見ると、以下の例(9)(10)の a,b,c それぞれに見られるような意味の違いが、必ずしも明らかにされていない点が不十分であると思われる。

- (9) a 春めいた日差し
b 春らしい日差し
c 春のような/みたいな日差し
- (10) a お説教めいたことを言う。
お説教っぽいことを言う。
c お説教じみたことを言う。

なお、現代日本語の「～めく」は造語力を失っているとの指摘(山口(1993))があるが、以下の例(11)～(13)に見るように、「～めく」はカタカナ語の名詞に後接するという新たな生産性も見せている⁴。

- (11) デパートやショッピングモールを中心に、すっかりクリスマスめいてきた今日この頃。(http://www.bb-guide.tv/index_backup/1205/)
- (12) 2ヶ月目の恋愛運：せっかくカップルめいてきたとたんに、喧嘩？何とかうまく、仲良くなるための喧嘩にしておきたい所だけど、[略](<http://allabout.co.jp/entertainment/fortunetelling/closeup/CU20040213A/?FM=bg>)
- (13) 辺鄙な観光地は観光客を増やそうとして、[中略]すると、そうした観光地はウリであった素朴さを失い、全体が額縁の中の作り物、生活臭のないテーマパークめいてくる。(<http://www.geocities.jp/eckiku/kansou25.htm>)

3. 「～めく」の意味

ここでは、「X が N めく」の表す意味を、「名詞 N で表される事物の特徴の一部が事物 X に現れ出る」ことであると考え、「事物 X が事物 N の様相を帯びる」と言ってよい。しかし、大野・浜西(1993:458)の言うように「本当にそのものらしくなる」わけではない。

- (14) a 春らしい日差し
春めいた日差し

(14)a のように「春らしい日差し」と言えば、それはまさに「本当に“春そのもの”と感じ

⁴ URL は 2004 年 7 月 17 日現在。いずれも検索エンジン「Google」にて検索。

られるような、「春」の日差し」のことである。しかし、(14)b の場合、「春」の特徴が現れ出したその「日差し」は、完全に「そのものらしく」(春らしく) になったものとは考えられない。

季節で言えば、(14)a は例えば「4月半ばの春らしい日差し」(本当に春そのものと言えるような日差し) と言ってよいが、(14)b はむしろ「(2月半ば～) 3月半ばの春めいた日差し」(春の兆しが見え始めた日差し) がふさわしく、「? 4月半ばの春めいた日差し」と言ったのでは、(東京地方では) 時節が遅過ぎ不自然である。

(15) a 春のような / みたいな 日差し

春めいた 日差し

また、(15)a の「春のような / みたいな 日差し」というのは、通常春ではない他の季節に、日差しが「まるで春と言ってもよい」ようなものであると感じられることを表す。この時、季節は春ではなく、その日差しも、春のものではない。したがって、この場合「? 4月半ばなのに春のような / みたいな 日差しだ」と言う(東京地方では4月はまさに“春”なのだから) 不自然であり、「1月半ばなのに春のような / みたいな 日差しだ」などであれば自然である。

一方(15)b の場合には、季節は“今まさに春を迎える” ところであろう。真冬など、まったく春という季節と無縁の時に、たまたま「春」の特徴を持つような暖かい日が差しているというのではない。したがって、逆に「?(12月半ば～) 1月半ばの春めいた 日差し」ではいささか早過ぎ、「(2月半ば～) 3月半ばの春めいた 日差し」であればふさわしいと思われる。

(16) どこことなく春めいた 日差し

また、例(16)のように、日差しの中に現れたどのような特徴から、具体的にそのように感じられるのかについては、特に特定できなくともよいと思われる。

現れ出る特徴が事物 N の特徴の一部であることは、以下の例(17)を見てもわかる。

(17) a 練習を積んだおかげで、ディベートらしいディベートができるようになった。

? 練習を積んだおかげで、ディベートめいたディベートができるようになった。

ディベートの技量が向上した場合に、(17)a のように「らしい」を用いれば、それが「典型的」なディベートと言ってよいものになったことを示すことができる。しかし、(17) b のように「～めく」を用いてそのような意味を表すことはできない。この場合、認められるのはその特徴の一部でしかなく、完全に「ディベート」であると言い切れるまでには到っていない。

(18) 母はいつもお説教めいたことを言う。

また、例(18)で、母の話は、「お説教」というものの持つ特徴の一部が、そこに現れ出たものとなっている。ただし、本当に「お説教」をしているわけではない。「お説教めいたこと」には、完全に「お説教」だとは言えない曖昧さが残されていると思われる。

(19) a 母の言うことはまさにお説教だ。

b ? 母の言うことはまさにお説教めいたことだ。

お説教そのものであるならば、(19)a のように「まさに」を用いて「間違いなく、確かにそうだ」と言ってもよいが、(19)b のように言うのは不自然である⁵。

- (20) a 母はいつもお説教っぽいことを言う。
b 母はいつもお説教のような / みたいなことを言う。
c 母はいつもお説教めいたことを言う。

また、例(20)a で、話者は頭の中に「お説教」というものの「典型例」(ケキゼ(2003:30-31))を思い浮かべており、母の話にそれに近いものと感じていると思われる。しかし、(20)c では、そのように典型例を思い浮かべているのではなく、ここでは、むしろ対象となる「母の話」そのものについて、その内から現れ出てくる特徴を見ていると思われる。

また (20)b は、母の話がどのようなものであるのかを説明する時、それと似ていると考えられる、「お説教」というある“別”のものを例として出してきた表現となっている。しかし、(20)c では、そのように母の話を別の何かに“たとえて”いるわけではない。

また、「～めく」は、森田(1996:196)で言われるように、特に「マイナス評価」の表現であるとは考えられない。

- (21) a きびきびした才人めいた風采(「茶漉」一般公開版(<http://prairie.lang.nagoya-u.ac.jp/chakoshipub.html>)により「青空文庫」の一部抜粋を検索)
b ?きびきびした才人じみた風采

(21)a のように、「～めく」の場合は、「才人」のようにむしろ「プラス」の評価と受け止められる名詞に後接することも可能である。一方(21)b のように「～じみる」の場合は、そのような表現に後接することは不自然であり、両者には明らかに違いが見られる。

引用文献

- 大阪YWCA日本語教師会 岡本牧子・氏原庸子・砂辺太郎(2000)『くらべてわかる 日本語表現文型ノート』
大阪YWCA日本語教師会
大野 晋・浜西正人(1993)『類語国語辞典 第七版』角川書店
グループ・ジャマシイ編著(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版
ケキゼ タチアナ(2003)『『っぽい』の意味分析』『日本語教育』118号 pp.27-36
白川博之監修(2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
日本語教育学会編(1987)『日本語教育事典(縮刷版)』大修館書店
森田良行(1996)『意味分析の方法 理論と実践』ひつじ書房
山口 豊(1993)「接尾辞『めく』の消長」『言語表現研究』9 兵庫教育大学 pp.28-35

⁵ 「“お説教めいたこと”とは何か?」という点が話の焦点になっているのではない。